

_		T A	١.	
1 4	<b>T</b>	1/1	67	17 C
T	JP	TA	CI	<b>7</b>

○審査対象となった1校1専攻を「可」と判定

	.110 2010 Walter
	の記事
Top News	認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査につ いて
〇「中期目標期間における教育研究の状況の評価に係る意見交換会」の開催 ・・・・・・・1	〇審査対象となった3校3専攻を「適」と判定 ・・・・・・10
〇平成29年度大学改革支援・学位授与機構人 材育成セミナー「内部質保証ワークショップ」 を開催・・・・・・・・2	特例の適用認定を受けた専攻科における教育 の実施状況等の審査について
○「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位	○審査対象となった12校26専攻を「適」と判定 ・・・・・・10
をめざす方への説明会」を開催・・・・・・・・4	省庁大学校の課程に係る認定の再審査について
学位授与事業	〇職業能力開発総合大学校を認定・・・・・13
短期大学・高等専門学校卒業者等を対象	認定課程に係る教育の実施状況等の審査につい て
とする単位積み上げ型の学位授与関係	○審査対象となった2校2課程を「適」と判定
「新しい学士への途」及び「学位授与申請書 類」について	•••••13
〇平成30年度版「新しい学士への途」及び	<b>質保証連携</b>
「学位授与申請書類」の発行 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	国内外の質保証機関等との連携
<ul><li>〇学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物</li><li>・・・・・・・・・・・</li></ul>	○韓国大学教育協議会・大学評価院長らを招へい ・・・・・・14
○資料の請求方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	諸外国の質保証制度・動向情報の収集・
平成30年度学士の学位授与申請に係る申請方法、受付期間及び試験日等 ・・・・・・・7	整理・提供 〇新規刊行物のご案内 - 平成29年度大学質保
短期大学の専攻科に係る認定の審査について	証フォーラム報告書 ・・・・・・15
〇新たに1校2専攻を認定一平成30年度一	機構の窓
短期大学の専攻科の認定に係る再審査について	〇会議の開催状況 ・・・・・16

# 主要行事日程

OSchedule (3月~5月) ••••17

### TOP NEWS

#### ○「中期目標期間における教育研究の状況の評価に係る意見交換会」の開催

第3期の評価実施方法等の検討の参考とすると共に、関係者における理解の共有・促進を図ることを目的として、当機構が実施した第2期中期目標期間の教育研究の状況の評価及び第3期に向けた検討状況等について、国立大学法人及び大学共同利用機関法人の評価担当者を対象に意見交換会を実施しました。

会場 学術総合センター2階 一橋大学 一橋講堂 日時 平成30年2月6日(火)14時~16時



開会挨拶をする福田機構長

当日は、各法人の評価担当副学長を始め事務局担当者など約230名の出席がありました。福田機構長による開会挨拶に引き続き、岡本理事より「第2期中期目標期間における教育研究の状況の評価について」、林研究開発部教授より「第2期中期目標期間における教育研究の状況の評価に係る検証結果について」、佐藤評価事業部長より「第3期中期目標期間における教育研究の状況の評価について」をそれぞれ説明した後、第3期の評価方法や変更点などに関することを中心に、各法人との間で活発な質疑応答・意見交換が行われました。



第2期の評価について説明する 岡本理事



質疑応答・意見交換の様子

# 〇平成 29 年度大学改革支援・学位授与機構人材育成セミナー「内部質保証ワークショップ」を開催

平成29年11月6日(月)及び平成30年1月29日(月)に人材育成セミナー「内部質保証ワークショップ」を開催し、両日合わせて、国立大学法人の教職員の方々を中心に75名(教員46%、職員54%)の参加がありました。

#### 【趣旨・目的】

大学の質保証のあり方については、中央教育審議会大学分科会『認証評価制度の充実に向けて(審議まとめ)』(平成28年3月)において、今後の認証評価は「各大学の自律的な改革サイクルとしての内部質保証機能を重視した評価制度に転換する」とされるなど、定期的な自己点検・評価の取組を踏まえた各大学における自主的・自律的な質保証への取組、すなわち、内部質保証の確立が、ますます重要になっています。

そこで当機構では、今後望まれる内部質保証システムの考え方を提示する『内部質保証ガイドライン』を平成 29 年3月に作成しました。

当セミナーでは、このガイドラインを踏まえ、各大学において実際にどのような内部質保証システムを構築し、「内部質保証の方針・基準」を定めるための道筋を描くことができるかを、大学と協同して検討することを目的として、また、同ガイドラインの基本的な考え方を伝えるとともに、大学の具体的な実情に則した議論の場を提供する機会として、ワークショップを以下のとおり実施しました。

#### 【ワークショップの概要】

▶ 実施日:第1回 平成29年11月6日(月)、第2回 平成30年1月29日(月)

▶ 場 所:大学改革支援・学位授与機構 竹橋オフィス (学術総合センター11 階 1112 会議室)

#### ▶ プログラム構成

- (1)「教育の内部質保証に関するガイドライン」の説明
- (2) 大学における取組事例報告

第1回:岩手大学、大阪大学

第2回:山形大学、豊橋技術科学大学

(3) グループ討論

自大学における内部質保証の状況について、参加者が個別に以下の項目ごとに分析を行い、その結果をグループ毎に共有をしながら意見を交換しました。

#### ※内部質保証の状況についての分析項目

① 機関別内部質保証体制

②教育課程の責任体制

③ 教育課程の点検方法・点検項目

④教育課程ごとの点検の実施

⑤ 教育課程の点検・評価結果の全学的集約

⑥ 改善・向上の企画・実施組織

⑦改善・向上の進捗の確認と対応

8 I R

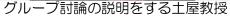
9 意見聴取

10 外部評価



ガイドラインを説明する林教授







グループ討論の様子(第2回)

#### (4)全体討論(まとめ)

各グループで上げられた意見を基に、全体討論を行いました。第1回目では、IR(インスティ テューショナル・リサーチ)や資格教育と内部質保証の関連に関する意見がありました。一方 で、第2回目では、大学の規模や学部構成によって状況が異なることについての議論や、分野別 質保証について機構への期待が寄せられ、いずれの回も非常に活発な議論が行われました。







全体討論の様子

#### 〇「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位をめざす方への説明会」を開催



当機構は、平成 30 年2月4日 (日)に、放送大学東京文京学習センターにおいて、「大学改革支援・ 学位授与機構で学士の学位をめざ す方への説明会」を放送大学と共同 で開催しました。

当機構と放送大学は、平成 26 年度に、生涯学習社会における高等教育の推進という共通の目的の下、学位授与事業と大学教育活動で相互に協力していくための協定を締結しており、今回の説明会もその一環として行われました。

両機関のホームページ等から参

加者を広く募集し、説明会当日は 120 名以上の方が参加しました。当機構の内藤管理部長による開会挨拶の後、機構の教職員が「単位積み上げ型の学士の学位授与制度」、「学位取得のための単位の修得一考え方と方法一」及び「学修成果の作成および試験についての留意事項」を主題に、機構の制度による学位取得の流れを説明しました。

その後の質疑応答では参加者から活発な質問が飛び交い、説明会終了後に行われた個別相談会には51名の方が参加し、約1時間40分にわたり、機構からの学位の取得に関わる個別の相談が行われました。説明会参加者のアンケートによると、満足度は総じて高く、今回が第3回となる機構・放送大学共同での説明会は盛況のうちに終了しました。

当機構と放送大学は、今後も継続して説明会を共同で開催することを予定しています。

※「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位をめざす方への説明会」の資料については、<u>当機構のホームページ</u>から入手できます。

# 学位授与事業

#### 短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■「新しい学士への途」及び「学位授与申請書類」について

#### 〇平成30年度版「新しい学士への途」及び「学位授与申請書類」の発行

平成30年度版「新しい学士への途」及び「学位授与申請書類」を発行しました。

「新しい学士への途」は、大学改革支援・学位授与機構が行う学士の学位の授与について、制度の目的、仕組み、学修方法、申請の手順などを解説したものです。

また、「学位授与申請書類」は、学位授与申請書類の記入上の注意と申請書類の各様式をとじたものです。

平成30年度に学位授与申請を希望される方は、この「新しい学士への途」と「学位授与申請書類」 を以下の方法により取り寄せた上で、学位授与申請の手続を行ってください。

※特例適用の認定を受けた専攻科修了見込みの者については、手続きが異なるため、別途確認してください。

#### ○学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物

当機構では、学士の学位授与制度及び申請方法等について説明した冊子等を毎年度発行しています。

学士の学位授与申請をされる方は、必ず申請年度の@印の冊子を取り寄せ、この制度の内容や記入上の注意等をよく読んでから、申請してください。

#### ◎新しい学士への途

学士の学位授与について、制度の目的、仕組み、学修方法、申請の手順などを解説したもの

#### ◎学位授与申請書類

学位授与申請書類の記入上の注意と申請書類の各様式をとじたもの

- 学士をめざそう!
  - 学士の学位授与について、学位取得者の体験談及び学位取得までの流れなどを簡単に説明したリーフレット
- ・機構が授与する学士の学位
  - 日本において大学以外で学位を授与できる唯一の機関である当機構が授与する学位について説明したリーフレット
- ※上記の冊子等(学位授与申請書類の一部を除く。)については、<u>当機構ウェブサイト</u>においてPD Fファイル等にて公表しています。

#### ○資料の請求方法

(1)テレメール(インターネット・自動音声応答電話)での請求方法

①以下のいずれかの方法ででテレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合 (スマートフォン・ パソコン・携帯電話)	http:	//telemail.jp/	話なら、ノ	フォン・携帯電 ドーコードを読 けでアクセス	
自動音声応答電話の場合	IP電話	050-8601-0	101	料金は日本	回線からの通話 本全国どこから 毎に約12円で

#### ②ご希望の資料の資料請求番号を入力してください。

資 料 名	部数	資料請求 番 号	料 金 (送料含む)
『新しい学士への途』 【2月】	1部(※)	488724	250円
『学位授与申請書類』 【2月】	1部(※)	488725	270円
『新しい学士への途』および『学位授与申請書類』 【2月】	1セット	488726	300円
学士をめざそう!	1 部	488727	120円
機構が授与する学士の学位	1 部	488728	120円

- 【 】は最新版の発行月です。学位授与申請にあたっては申請する年度・期のものをご利用ください。
- ※ 複数セットを請求する場合は、当機構ウェブサイトから請求してください。
- ③ガイダンスに従ってお届け先等の登録を行ってください。

請求方法についてのお問い合わせ

テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(2) 当機構のウェブサイトからの請求方法

当機構ウェブサイトからでテレメールを利用して資料請求できます。

#### ■平成30年度学士の学位授与申請に係る申請方法、受付期間及び試験日等

#### 1 申請方法

申請にあたっては、インターネットを利用した「電子申請」で行ってください。 ただし、電子申請の場合であっても、証明書類や学修成果等の必要書類は、別途、期限までに機構に郵送(書留) する必要があります。

また、インターネットを利用できないなど、電子申請することができない場合には、すべての申請書類を期限までに機構に郵送(書留)することとなる「郵送申請」で行うこともできます。 なお、2019年度より原則として電子申請のみとなります。

#### 2 受付期間等

#### (1) 電子申請

申請時期		受 付 期 間
	〇 データ入力	平成30年3月13日(火) ~ 平成30年4月6日(金)
4月期申請		(最終日は17時までに送信完了)
4万规中间	〇 書類送付	平成30年4月1日(日) ~ 平成30年4月7日(土)
		(最終日は当日消印有効)
	〇 データ入力	平成30年9月11日(火) ~ 平成30年10月4日(木)
10月期申請		(最終日は17時までに送信完了)
10万热中语	〇 書類送付	平成30年9月25日(火) ~ 平成30年10月5日(金)
		(最終日は当日消印有効)

<sup>※</sup>書類送付は、郵送(書留)による提出のみ受理します。

#### (2) 郵送申請

申請時期		受	付	期	間
4月期申請	〇 書類送付	平成30年4月	1日(日) ~		30年4月7日(土) 3日は当日消印有効)
10月期申請	〇 書類送付	平成30年9月	25日(火)		30年10月5日(金) 終日は当日消印有効)

※書類送付は、郵送(書留)による提出のみ受理します。

中き書物等の光付生	〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1
申請書類等の送付先	独立行政法人大学改革支援•学位授与機構管理部学位審查課

### (3) 学位審査手数料払込み

申請時期	受 付 期 間
4月期申請	〇 平成30年3月1日(木) ~ 平成30年4月7日(土)
10月期申請	〇 平成30年9月1日(土) ~ 平成30年10月5日(金)

<sup>※</sup>ATMでの払込みはできませんので、窓口の営業日・受付時間に注意してください。

### 3 試験日・試験場

申請時期	試験の区分	試験	場	試験日
	小論文試験	東京	沪	
	(学修成果としてレポートを提出した者)	大	阪	
4月期	面接試験 (専攻の区分「音楽」、「美術」、「演劇」の いずれかでレポート以外の学修成果を提出 した者)	東京	京	平成30年6月10日(日)
	小論文試験	東京	京	平成30年12月16日(日)
	(学修成果としてレポートを提出した者)	大	阪	平成30年12月10日(日)
10月期	面接試験 (専攻の区分「音楽」、「美術」、「演劇」の いずれかでレポート以外の学修成果を提出 した者)	東遠	京	平成30年12月9日(日)

### 問合せ先

電 話 042-307-1550

FAX 042-307-1555

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

(土・日曜、祝日、年末年始を除く。)

#### ■短期大学の専攻科に係る認定の審査について

#### 〇新たに1校2専攻を認定 - 平成30年度-

平成29年9月に認定の申出のあった短期大学の専攻科について、各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成30年2月15日(木)開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われました。審査の結果、1校2専攻を認定(平成30年度から適用)することとなり、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

#### 短期大学専攻科(1校2専攻)

	名	称	専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設置者	適用時期
_	15000000000000000000000000000000000000	*************************************	音楽専攻	20	2		亚世20年4日4日
	侧册子图:	芸術短期大学	演劇専攻	20	2	学校法人桐朋学園	平成30年4月1日

#### ■短期大学の専攻科の認定に係る再審査について

#### ○審査対象となった1校1専攻を「可」と判定

平成29年度に学則等の変更の届出のあった認定専攻科のうち、教育課程に大幅な変更が生じると認められた専攻科について、認定の再審査が行われました。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成30年2月15日(木) 開催の学位審査会において認定の再審査の可否について審査が行われ、審査対象となった1校1専攻が「可」と判定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

#### 短期大学専攻科(1校1専攻)

	名	称	専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設置者	適用時期
1	常葉大学短期	大学部	音楽専攻	20	2	学校法人常葉学園	平成30年4月1日

#### ■認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

#### ○審査対象となった3校3専攻を「適」と判定

当機構の認定を受けた短期大学及び高等専門学校の専攻科は、認定後、原則として5年後に教育の実施状況等の審査を行い、その後は7年ごとに審査を行います。

本年度は平成17年4月1日及び平成24年4月1日に認定を受けた専攻科に係る審査が行われました。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成30年2月15日(木) 開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、審査対象となった短期 大学専攻科3校3専攻すべてが「適」と判定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

#### 〈平成29年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された専攻科一覧〉

短期大学専攻科(3校3専攻)[教員審査(2校2専攻)]

	名 称	専 攻	入学 定員	修業 年限	設 置 者
1	日本歯科大学東京短期大学	歯科技工学専攻	5	2	学校法人日本歯科大学
2	山野美容芸術短期大学	芸術専攻	40	2	学校法人山野学苑
3	富山短期大学	食物栄養専攻	15	2	学校法人富山国際学園

#### ■特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について

#### ○審査対象となった12校26専攻を「適」と判定

当機構の特例の適用認定を受けた短期大学・高等専門学校の専攻科については、適用認定の結果の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年以内に教育の実施状況等の審査を行い、その後は5年ごとに審査を行います。

本年度は平成27年4月1日及び平成28年4月1日に特例の適用認定を受けた専攻科に係る審査が行われました。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成30年2月15日(木)及び平成30年3月9日(金)開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、審査対象となった短期大学専攻科2校3専攻及び高等専門学校専攻科10校23専攻すべてが「適」と判定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

### 〈平成29年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された専攻科一覧〉

### 1 短期大学専攻科(2校3専攻)[教員審査(2校3専攻)]

	名称	専 攻	入学 定員	修業年限	設 置 者
1	湊川短期大学	幼児教育専攻	10	2	・学校法人湊川相野学園
!	·	健康教育専攻	10	2	子权应入侯川阳却子园
2	別府大学短期大学部	初等教育専攻	10	2	学校法人別府大学

## 2 高等専門学校専攻科(10校23専攻)[教員審査(8校19専攻)]

	名 称	専 攻	入学 定員	修業年限	設 置 者
1	釧路工業高等専門学校	建設・生産システム工学専攻	8	2	独立行政法人国立高等専門学
'	別的工業向守守  1子仪	電子情報システム工学専攻	12	2	校機構
2	福井工業高等専門学校	生産システム工学専攻	12	2	独立行政法人国立高等専門学
	個介工来向せずり予议	環境システム工学専攻	8	2	校機構
		生産システム工学専攻	12	2	
3	   米子工業高等専門学校 	物質工学専攻	4	2	独立行政法人国立高等専門学 校機構
		建築学専攻	4	2	
4	阿南工業高等専門学校	構造設計工学専攻	8	2	独立行政法人国立高等専門学
	NI-CLOS GIANTERS	電気・制御システム工学専攻	8	2	校機構
5	     香川高等専門学校	創造工学専攻	24	2	独立行政法人国立高等専門学
		電子情報通信工学専攻	18	2	校機構
		生産工学専攻	8	2	
6	新居浜工業高等専門学校	電子工学専攻	8	2	独立行政法人国立高等専門学 校機構
		生物応用化学専攻	4	2	

	名称	専 攻	入学 定員	修業年限	設置者	
7	佐世保工業高等専門学校	複合工学専攻	16	2	独立行政法人国立高等専門学 校機構	
8	 	電子情報システム工学専攻	24	2	独立行政法人国立高等専門学	
8	がかします! 1チャ	生産システム工学専攻	24	2	校機構	
9	大分工業高等専門学校	機械・環境システム工学専攻	8	2	独立行政法人国立高等専門学	
9	八刀工来向守守  ] 子牧	電気電子情報工学専攻	8	2	校機構	
		機械システム工学専攻	8	2		
10	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻	8	2	神戸市	
	74万1741   74万17   74717   74万17   74万17   74万17   74万17   74万17   74万17   74万17   74717   7	応用化学専攻	4	2	<u>t</u> &}_ i b	
		都市工学専攻	4	2		

#### ■省庁大学校の課程に係る認定の再審査について

#### 〇職業能力開発総合大学校を認定

平成29年9月に認定の再審査の申出があった職業能力開発総合大学校について、専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成30年2月15日(木)開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われ、課程を認定することが決定され、機構長から所管省庁及び大学校に通知しました。

#### 大学の学部に相当する教育を行う課程(1校1課程)

	名   称	課	程	入学 定員	修業 年限	所管省庁
1 職業能力開発総合大学校		総合課程		80	4	厚生労働省

#### ■認定課程に係る教育の実施状況等の審査について

#### ○審査対象となった2校2課程を「適」と判定

当機構の認定を受けた省庁大学校の課程は、認定後、原則5年ごとに教育の実施状況等についての審査を受けることとされています。

各専門委員会における教員組織等の審査結果に基づき、平成30年2月15日(木)開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、審査対象となった2校2課程いずれも「適」と判定され、機構長から各所管省庁及び各大学校に通知されました。

#### <平成29年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された省庁大学校の課程一覧>

#### 大学の学部に相当する教育を行う課程(2校2課程)

	名	称	課	程	入学 定員	修業 年限	所管省庁
1	海上保安大学校		本科		60	4	国土交通省
2	気象大学校		大学部		15	4	国土交通省

# 質保証連携

#### 国内外の賃保証機関等との連携

#### 〇韓国大学教育協議会・大学評価院長らを招へい

平成30年2月22日(木)、当機構の覚書締結機関である韓国大学教育協議会・大学評価院 (KCUE-KUAI: Korean Council for University Education-Korean University Accreditation Institute)よりYIM, Jong-Bo 大学評価院長ら役職員3名を招へいしました。YIM 院長による講演会を開催したほか、当機構とKCUE-KUAI 間で新たに質保証制度に関する共同研究を実施することとなり、その協議も併せて行いました。

講演会では、「韓国高等教育の質保証制度について」をテーマに、KCUE-KUAIが実施する機関別評価認証制度や評価者研修から、韓国教育部が実施する大学構造改革まで多岐にわたる内容の発表が行われました。

機関別評価認証制度については、新たに第3サイクルを迎えるに当たり、基準の厳格化等、質向上に向けた取組について紹介があり、同じく新サイクルを迎える当機構の大学機関別認証評価との共通課題にも話題が及びました。

韓国では少子化問題に対応するために、教育部が平成27年より大学構造改革評価を実施しています。これは、全大学を対象に評価を実施し、その結果に応じて各大学に定員削減の勧告や政府による財政支援の抑制を行い、大学の統廃合も促すものであるとのことです。平成30年より実施される第2サイクルでは、本評価の主目的を定員削減から大学の特性化支援とするなど、前回評価からの変更案や機関別評価認証制度との関係性についての紹介がありました。

当機構教職員に加えて他機関の高等教育質保証関係者の参加もあり、活発な質疑応答、意見交換が行われました。

当機構と KCUE-KUAI は日中韓の質保証機関による共同の取組として、平成 23 年度より「キャンパス・アジア」の学生交流プログラムに対するモニタリング活動を行っています。今回の招へいを通じて、KCUE-KUAI と、旧来のモニタリング活動の枠を越えた新たな連携関係へと繋げることができました。



機構長との懇談後の記念撮影

#### 諸外国の賃保証制度・動向情報の収集・整理・提供

#### 〇新規刊行物のご案内 一平成 29 年度大学質保証フォーラム報告書

当機構では、国内外の高等教育質保証の基本的な情報のほか、日本の高等教育機関が質の保証・向上を 図るうえで有益な海外の事例を収集し、刊行物等にまとめて広く発信しています。

今回は、新規刊行物として、平成29年度大学質保証フォーラム「教員と職員・学生のための大学をつくる・」の報告書を平成30年3月に刊行しましたので、ご案内します。

#### 平成 29 年度大学質保証フォーラム報告書



平成 29 年 8 月 7 日 (月) に一橋講堂で当機構が開催した平成 29 年度 大学質保証フォーラム「教員と職員 - 学生のための大学をつくる - 」の講演 の発表資料等を掲載するとともに、当日の記録を写真を交えて紹介していま す。

(後援:公益財団法人大学基準協会、公益財団法人日本高等教育評価機構、一般財団法人短期大学基準協会、認証評価機関連絡協議会、アジア太平洋質保証ネットワーク(APQN: Asia-Pacific Quality Network))

新規刊行物掲載先: 国際連携ウェブサイト http://www.niad.ac.ip/n kokusai/

## 機構の窓

#### 〇会議の開催状況

• 学位審査会

第4回 平成30年2月15日(木) 15時00分~16時30分 議事

- 1 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の審査の結果について
- 2 認定課程修了者に係る学位授与の審査の結果について
- 3 認定課程修了見込者に係る修士及び博士の学位授与の審査の付託について
- 4 認定課程修了予定者に係る学位授与の審査について
- 5 短期大学の専攻科に係る認定の審査の結果について
- 6 短期大学の専攻科に係る認定の再審査の結果について
- 7 省庁大学校の学士相当課程に係る認定の再審査の結果について
- 8 平成29年度教育の実施状況等の審査の結果について
- 9 短期大学及び高等専門学校の特例適用専攻科の変更の届出に係る審査の結果について
- 10 細則等の改正について
- 11 平成30年度の審査スケジュールについて
- 12 その他

# 主要行事日程

# O Schedule

# 3月

В	行事名	担当課
7⊟	大学機関別認証評価委員会(第4回)	評価支援課
9 ⊟	学位審查会(平成29年度第5回)	学位審査課
12日	法科大学院認証評価委員会(第3回)	評価支援課
13日~ 4月6日	平成30年度4月期学位授与電子申請受付期間	学位審査課
15 ⊟	第 49 回国立大学教育研究評価委員会	評価企画課
	(書面審議)高等専門学校機関別認証評価委員会(第3回)	評価支援課

# 4月

В	行事名	担当課
1 ⊟~7 ⊟	平成30年度4月期学位授与郵送申請受付期間	学位審査課
23 🛭	平成 30 年度認証評価機関連絡協議会評価担当職員研修	評価企画課

### 5月

В	行事名	担当課
17⊟	学位審查会(平成30年度第1回)	学位審查課

